

## H25年度・前期学期・マクロ経済学Ⅰ・中間試験

---

岡村 與子

2013/06/11

### 注意事項:

- ① 問題は両面に印刷されています。すべて解答してください。
- ② 試験時間は 1 時間です。携帯電話電源を切ってください。アラーム・クロックなどは鳴らないようにセットしてください。
- ③ 筆記用具・電卓(携帯電話の電卓機能の利用は不可)・定規 以外の所持品は、空いている椅子のなどにおいてください。それ以外のすべてのノート・教科書などの参照は不可とします。
- ④ 計算問題では、最終的な解答のみでなく、途中の計算過程も、思考過程が分かるように書いてください。最終的な解答のみの答案には配点されません。
- ⑤ グラフや図を描く問題では、曲線が表す関数や座標軸で測る変数などを、定規などを使って丁寧に、分かりやすく示すこと。“形状だけ正解”の図には高い配点はされませんので気を付けてください。

【平成 25 年度・前期学期・マクロ経済学 I・中間試験】

☆ 【問 1】～【問 4】は多肢選択問題です。設問への答えとして、最も適当なものを一つだけ選んでください。複数の選択肢を解答しても配点されません。

【問 1】労働市場や、労働市場の状況を表す統計指標について、次の文章のうち、最も適当なものを一つだけ選びなさい。

- (1) 労働力調査では大学に在学しており、アルバイトをしていない学生は、失業者に数えられる。
- (2) 労働力調査では、自分には適当な職が無いと思い、職を探すのをあきらめてしまった労働者も、失業者に含まれる。
- (3) 労働力調査では、自分が望む時間以下しか労働に従事できない者も就労者に含まれる。
- (4) 労働力調査では、15歳以上の男女すべての人の人数が、労働人口に含まれる。
- (5) 上の(1)～(4)はすべて誤りである。

【問 2】ある経済では、パンのみを生産している。パンが出来上がるまでのプロセスが、①小麦農家→②製粉工場→③パン工場→④パン屋→⑤消費者の順番で製品化されるとしたとき、次のようにこれらの企業の金銭の授受が記録されたとしたとき、後の文章のうち、最も適当でないものを一つだけ選びなさい。

表：パンの生産プロセスでの金銭授受（単位＝千円）

（小麦農家）		（製粉工場）	
受取	支払	受取	支払
小麦販売額 320	地代 120 賃金 130 利子払 50 利潤 20	小麦粉の販売額 640	小麦の購入額 320 地代 80 賃金 120 利子払 30 利潤 90
（パン工場）		（パン屋）	
受取	支払	受取	支払
パンの販売総額 990	小麦粉の購入額 640 地代 100 賃金 140 利子払 100 利潤 10	消費者への販売総額 1320	パンの購入額 990 地代 110 賃金 200 利子払 20 利潤 0

- (1) 製粉工場にとって、中間財支出は、小麦の購入代金と利子払いを和した 350 千円である。
- (2) この生産プロセスで、労働者が受ける所得総額は 590 千円である。
- (3) この生産プロセスで、最終財の総額は 1320 である。
- (4) パン工場が生み出した付加価値の合計は、350 千円である。
- (5) 製粉工場が生み出した付加価値の合計は、320 千円である。

【問 3】ある国の一人当たりGDPの成長率が過去平均 3.5%であったとする。この国の一人当たりGDPの平均成長率がこれからも変化しないと過程すると、この国の一人当たりGDPが 2 倍になるまでにかかる年数として最も適当なものを一つ選びなさい。

- (1) 約 11 年半      (2) 約 2 年      (3) 約 70 年半      (4) 約 20 年半      (5) 約 210 年

【問 4】GDPについて最も適当なものを次の選択肢のなかからひとつ選びなさい。

- (1) 名目GDPは、実質GDPから価格変化の影響を取り除いたものである。  
(2) GDPには、海外で働く日本人の所得が算入される。  
(3) GDPは、フロー変数である。  
(4) GDPには、家庭内労働が市場で取引されたと仮定して所得を計算している。  
(5) 上の(1)～(4)はすべて誤りである。

#### 【論述計算問題】

☆【問 5】、【問 6】は論述・計算問題です。論述問題では、主語、述語のある完結した文章で説明してください。また、計算問題については、途中の計算過程が解るように、言葉を補いながら解答してください。最終的な答えだけの解答には高く配点しません。

【問 5】投資と資本ストックについて次の設問に答えなさい。

- (1) ストック量とフロー量の違いについて述べなさい。  
(2) 投資の2重効果とはどのような意味か、説明しなさい。  
(3) ある年のすべての民間企業が抱える資本ストックがその年の1月1日に1750兆円で、この年の間に行われた投資支出（国内固定資本形成）が150兆円であった。今、資本減耗率、 $\delta = 0.04$ であった場合、次の年の年頭（期首）における民間企業による資本ストック量はどのような額になるか計算しなさい。

【問 6】ある経済が閉鎖経済で、民間部門によってのみ構成されている。また、次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられている。これらについて後の問に答えなさい。必要なグラフは必ず描くこと。（グラフは配点の対象です。）

$$\text{消費関数} : C = 25 + 0.7Y$$

$$\text{独立投資} : I = 35$$

但し、 $C$  は消費支出、 $I$  は投資支出、 $Y$  は国民所得であるとする。

- (1) 基礎消費はいくらになるか、また限界消費性向（MPC）はいくつであるか特定しなさい。  
(2) この経済の総需要を表わしなさい。  
(3) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。  
(4) 今、この経済の潜在生産高が250であるとする。この時、この経済にはインフレギャップ、デフレギャップのどちらが存在するか。またその大きさはいくらになるか答えなさい。